

平成28年度 第1回

# 中野市総合教育会議 会議録

中野市・中野市教育委員会

- 開催日時 平成28年9月28日（水）午後3時～午後3時35分
- 開催場所 中野市役所31・32号会議室
- 議事日程
  - 1 開会
  - 2 あいさつ  
市長、教育委員長
  - 3 議題
    - (1) 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について
    - (2) その他
  - 4 閉会

○ 出席者

1 構成員

市長	池田 茂
教育委員長	長島 克己
教育委員長職務代理者	青木 幸子
教育委員	市川 真一
教育委員	永江 文樹
教育長	小嶋 隆徳

2 意見聴取者及び説明者

副市長	横田 清一
総務部長	竹内 幸夫
教育次長	石川 保文
学校教育課長	小林 由美
学校教育課総務係長	富田 訓宏
学校教育課副主幹	田中 千尋

## 《開会》（15：00）

（石川教育次長）

それでは定刻となりましたので、ただ今から、平成 28 年度第 1 回中野市総合教育会議を開催いたします。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます、教育次長の石川です。よろしくお願いいたします。なお、本日の会議は、運営要領第 4 条に基づきまして公開となっておりますので、ご了承をお願いしたいと思います。

それではお手元の次第に沿いまして進行させていただきます。

はじめに、会議を主宰する池田市長からあいさつ申し上げます。

## 《市長あいさつ》

（池田市長）

平成 28 年の第 1 回総合教育会議の開催に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日、この会議を開催いたしましたところ、教育委員長並びに委員の皆様には、大変お忙しいところご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から中野市の教育行政の推進に対しまして、多大なるご尽力をいただいておりますことにつきまして、改めて御礼を申し上げます。

現在、学校の統廃合問題で、教育委員の皆様には非常にご苦勞をいただいておりますが、中野市の未来ある子どもたちのためにより良い教育環境を整えていくことが行政の責務だと考えておりますし、またそれが役割であると思っております。

教育は国家百年の計と言われております。これからおこる人口減少社会におかれるにあたって、今後日本を支えていく、またこの地域を支える子どもたちを育てるということの重要性は本日、教育委員の皆様も重々ご承知の事と存じます。今後皆様と連携いたしまして、最善の方策を一緒に考えて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。本日は、どうぞよろしくお願い致します。

（石川教育次長）

ありがとうございました。

続きまして、長島教育委員長からごあいさつをお願いいたします。

## 《教育委員長あいさつ》

（長島教育委員長）

第 1 回中野市総合教育会議の開催にあたり、教育委員会を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

日頃から、市長さんをはじめ市の関係者の皆様には、中野市の教育行政発展のため、多大なるご支援ご協力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年度から始まりました総合教育会議で、市と教育委員会が共通した課題を一緒に考えるということで、中野市の教育行政もさらに発展できるものと感じております。

私たち教育委員は、本年 4 月に中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）の

修正案を策定し、以後市民説明会やパブリックコメントなどでいただいたご意見をふまえ、子どもたちにとって何が一番大切なのかということ念頭におき、協議して参りました。

今回、この基本方針の最終案についてお示しいたしますが、市長さんにおかれましては、中野市の未来ある子どもたちのために、ぜひこの方針についてご理解いただくとともに、今後とも格別なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

(石川教育次長)

ありがとうございました。

本日は出席構成員の他、副市長、総務部長並びに事務局の関係する職員が出席しております。出席者につきましてはお手元の名簿のとおりでございますのでよろしくお願い致します。なお会議の運営につきましては、中野市総合教育会運営要領に基づきまして、進めて参りますのでお願ひしたいと思います。

それでは次第に沿いまして、3番の議題に入りたいと思いますが、以後、進行につきましては、池田市長にお願ひしたいと思います。

(池田市長)

それでは進行につきまして私のほうで務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。以下着座にて失礼いたします。

#### 《議題 (1) 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針 (案) について》

(池田市長)

それでは、議題の(1) 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針 (案) につきまして、これを議題といたします。事務局より説明をお願い致します。

(小林学校教育課長)

それではお願ひ致します。

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針 (案) につきましては、昨年度実施しました市民説明会、保護者懇談会及びパブリックコメントにおいていただきました市民の皆様のご意見をふまえ、本年4月に修正案を策定いたしました。その修正案に基づきまして市民の皆様のご理解を得るため、市内11小学校を会場に5月22日から6月18日まで市民説明会を開催し、あわせて5月23日から6月24日までパブリックコメントを実施し、修正案に対するご意見をお聞きいたしました。教育委員会では多くのご意見をふまえ、協議を重ねた結果、子ども達にとってこの案が最善の案であるとし、本日、基本方針の最終案をお示ししております。

それでは、お手元の資料、中野市小学校及び中学校適正規模等基本方針 (案) をご覧下さい。本年4月にお示しした基本方針案の修正案から基本的な方向性については変更はございません。

6 ページの小学校及び中学校適正規模等スケジュールをご覧下さい。今後につきましては本年度1月に（仮称）統合準備委員会を設置し、様々な課題について協議検討し、平成32年4月には北部地区統合小学校の開校、平成33年4月には豊田地域の統合小学校の開校に向けて進んで参りたいと考えております。説明は以上でございます。

（池田市長）

それでは今、基本方針案につきましてこれまでの若干の経過と内容の説明がございましたけれども、早速ですが、本日お集まりの委員の皆様から、この案につきまして、忌憚のないご意見をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

（小嶋教育長）

やはり今、この大事な節目の時期を迎えまして、振り返ってみると、審議会の答申を受けまして、教育委員会で協議をスタートした出発の時の基本理念は、集団の学びが大切であるというようなこと、地域への愛着と関わり、この2つを軸にして協議をスタートしたかなと思っております。その後、教育大綱を決めていただいたわけですが、その中でも基本理念はやはり、豊かな社会性を身に付ける、という教育の推進。それから故郷への愛着。こんなことがうたわれておりました、この辺が軸となって私共、いろいろ協議して参りました。先程、学校教育課長の方から説明がありましたように、いろいろな地域の皆さんやパブリックコメントで、ご意見を頂戴しながらここまでできています。今申し上げたことをやはり大事にして、これからも進めていければなと感じております。

（池田市長）

この学校統廃合の問題につきましては、ずいぶん長い時間をかけまして、パブリックコメントなど市民の皆さんの様々なご意見をお伺いする中で行われてきたということでございますが、他にいろいろご意見がまだあろうかと思っておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

（長島教育委員長）

私共は審議会の方から頂いた答申書を検討して進めてきたわけですが、その中では複数のクラスが望ましいということで、その辺もだいぶ協議してきました。今回は複数のクラスにならない学校も出てくるわけですが、ある程度、地域によって学校を残さなくてはいけないのではないかとということで、1学年複数のクラスにならなくてもやむを得ないのではと思っています。ふるさと学習等の事もございますし、今回このような基本方針案となっているわけですが、その辺のところもご理解をいただければと思っております。

（青木教育委員）

私も同じようなことになるかと思うのですが、社会に出てたくましく人と関わって生きていく、そういう子どもたちを育てる、そのためには学校で友と関わって学んでいく、色々

な考え方に触れて、そして自分を高めていく。それは本当に大事なことだなというふうに思っています。そんな環境を早く造っていきたい。ですので必要性の高いところから進めていくことが大事ではないかなというふうに思います。

(市川教育委員)

自分は去年から教育委員会の方でお世話になりまして、入った時からずっとこの議題を続けているものでございます。大変多くの学校の皆さん方、そして地域の皆さん方のご意見をお伺いする中で、いろいろな考えがあるものだなという思いをしっかりと感じてまいった次第でございます。では、どういう子どもたちを作りたいのか、これからどういう子どもたちになっていっていただきたいのか、いきたいのかというような思いを持った時に、先程青木委員さんが言われたようなことが当然かと思えますし、磨かれてこそ価値があります。地域がそして行政が責任を持って地域の子どもたちを育てていくにあたっては、今現在、教育委員会でご提案させていただいている統廃合のスケジュールに沿って進んでいただくのがベターな線ではないかと思うところでございます。色々な思いはございますけれども、本当に子どものためと思った時に、強い人間になっていっていただきたい、色々な考えもございましょうが、多くの交わりの中で磨かれることがとても大事かと思っております。一生その親、保護者、地域の人がその子どもを助けてあげられる訳ではありません。永遠ではないので、ぜひ目指すところというのは、子ども一人ひとりが自立することだと思っておりますので、自分の力で命をつなぎ、飯を食い、家族を養い、そういうサイクルが、その子どものその子どもまで出来るようにやってあげるのが我々の務めと考えますので、今、大きな決断の時にいるように自分は思います。

(永江教育委員)

私は今年になったばかりで、いろいろ5月までに決まったものを読ませていただきました。この間、私が小学校に入学した時の小学校の人数を数えてみました。1年から6年まで520何人、今50何人、10分の1なんです。50年以上経ったと言われればそれまでですけどちょっと少ない。今年あたりは私のいる地域、永田地区は、小学校入学数が4人。4人では切磋琢磨しろといってもなかなかしづらい。統合は地域の人達にしてみれば仕方ないという気がします。なにもこれは中野市だけの問題ではなくて日本中そうだと思います。

この間、家に来た高校生の女の子が、「私も小学生の時12人だった。その子は愛知県の子なんですけど、ところが女の子が2人だけだった。女の子2人だと授業が大変だと、もう少し人数が多ければ良かったな」と言っていました。ただ、その愛知県の子は、「しばらくしたら近くに団地が出来て10年ぐらいしたら1学年5、60人になった」と言っていましたけれども、ここにあるように最低でも1学年2クラスぐらい必要かなとは思いますが、現実問題、中野市の場合ずっとこのまま行って2クラスのならない学校、学級がかなり増えるのだと思います。それはあと10年20年した時に考えていただければと思いますが、今日のこの案はいろいろと昨年来検討し、いろいろな意見を聞いてこのようになったものですので、私はいいのではないかと思っています。

(池田市長)

私自身もいろいろな席で、学校をどうするんだというご意見をいただく中で、基本的に考えているのは、軸足はやはり今、学校で勉強している子どもたちに重点を置くべきだという考えであります。その子どもたちの教育環境を整えてあげることが、私に課せられた使命だろうと。確かに人口減少、少子高齢化といわれる中で、今後まだ人口動態が変わる可能性もあるんですが、現行のままで、そして、ままとは言いませんけれども進行状況をみれば、やはり、クラスが成立しないなどの状況がある中で、それは急いで対応をしていかなければいけないし、行政としても市としてもこれは大変な問題であるというふうに考えております。

一方で長期的な展望の中で今回議論の中にあたり色々な会議の中でも出たと思いますけれども、地域の発展と学校の存在とよく言われるのですが、学校があれば地域が発展する。逆をいって見て、学校がなければ地域が発展しない。逆説的なものがあるのですが、対義語がどうも成立しないということなのです。ということは地域の発展というのは別の意味でこれは行政がイニシアチブをとって取り組んでいかなければいけない。別の意味でも重たい課題があるというふうに私は気にしております。まずは子ども達の間形成の環境を整えていく。そのための対策を行うということで、よく言われた統廃合ありきではないということで考えています。ちょっと説明が足りない点があるかもしれませんが、今回、私自身も色々な説明会に出させていただいたり、色々なご意見を聞く中で、ここは責任を持って考えていくということが使命だと思っております。その他にもこれからの変化に対応して取り入れていかなければいけない課題があるかと思っておりますが、今、さらに学校を取り巻く環境、学校の中での環境、例えば今、非常に重要に思っているのはP T Aさんの活動ですね。報道でも言われておりますけれども、やはり人数の少ないところではP T Aさんも大変だし、今の社会の働き方という中での活動も含めて相対的に考えていくと、少しでも人間人格形成を中心に子どもたちの環境を整えることを先ずしておいて進めていくことが問題の課題を明確にしていくことになろうかと思っている次第です。そんなことで、ここに出された方針で進めさせていただけるならば市長部局としても市長としても案文に沿って急ぎ図って参りたいという思いであります。

(小嶋教育長)

今、市長さんがP T Aのお話をなさったもので、実は去年のP T Aの研究集会の時に、ある地区で子どもの数が減って、そうするとP T Aの役員さんを回しようがない。またうちのところで兄弟が2人いるから連続してやらないといけないということを、直接言われたことがあって、活動が非常に制約されてくるというようなことを皆さんがおっしゃっております。大きいところはむしろいろいろな行事があって大変だというのですが、少ないところへ行けばいったでそのような声がありまして、これからP T Aの皆さんにも組織、事業計画、役員の在り方とか、大変細かいところのお話を議していただくような場面があるかと思っております。

これからコミュニティースクールとかいろいろな点で、ボランティアの皆さんもそうですが、PTAの皆さんのお力が非常に学校として大事になってくるわけで、その辺も我々教育委員会で意識していかなければいけないひとつの大きな要因だというふうに思っております。

それから男女のバランスの関係でございますが、これも今まで話題にしたことがあるわけですが、やはり小学校1年生2年生3年生ぐらいまでは何とか男女のバランスが崩れていても楽しくできるかと思うのです。ところが小学校4年の2学期ぐらいですか、いわゆる第二次性徴、その頃になってくるとお互い男女を意識したり、しっくりいかないところが出てきて、担任の先生がバランスが崩れていると、活動でまとめていくことが非常に大変になってくるわけなのです。そのようなところも1つの大事な要因なり、小さい学級においては私共がそこをどういうふうにフォローするか、学校でも男女のバランスについて努力しているわけですが、そのようなところもやはり意識していかなければならないひとつかなと思いました。

(池田市長)

お話の中で学校を取り巻く環境ということで、様々な問題や課題がある。その中でもう一度繰り返しになりますけど、今、正に学級が成立しなくて少人数でそこで学んでいる皆さんの教育環境をまず整えてあげるのが最優先であろうかと思っています。その上でどういった教育環境を整備してくかというのは、また現場の先生方、校長先生をはじめ協議しながら、いってみれば先端の設備を整えていくとかというより、環境を整える方が重要だと考えます。相当議論を尽くされてここにたどり着いたと思いますので、基本的には私も協力させていただいて、これまでの結果を踏まえますと、この方針案で進めていくことについて同調したいと考えています。教育委員の皆さんの意思確認をさせていただきますが、そういうことでよろしいでしょうか。

(長島教育委員長)

ありがとうございます。私共、教育委員会といたしましてもこの件について何度となく協議して参りました。私共といたしましても、この基本方針案で今後推進していきたいと思っておりますので、この基本方針での決定をお願いしたいと思っております。

(池田市長)

この方針で進むといたしましても、まだまだ解決していかなければならないいろいろな課題があるかと思いますが、委員長さんから話がございましたので、基本方針、現在は案となっておりますが決定ということでよろしいでしょうか。皆さんご賛同いただいたということで、この基本方針に沿いまして中野市の未来ある子どもたちのために教育環境を整えることができますよう、よろしく願います。

私自身も誠心誠意努力して参りますのでよろしくお願い致します。



## 《議題 (2) その他》

(池田市長)

それでは、次に議題2 その他について事務局より説明願います。

(小林学校教育課長)

それでは、(仮称) 統合準備委員会につきまして、考えています概略を説明させていただきます。まず統合準備委員会で協議していただく事項には、校名、校歌、校章、旧校の財産の引き継ぎ、閉校、開校式の準備、通学路、通学方法の選定、教育課程、学校行事、PTA組織の運営、コミュニティースクールの編成など、多岐にわたりものすごい課題がございます。そしてその地域の実情や要望をお聞きしながら、これらの課題をすり合わせていく作業が必要となって参ります。この課題を統合準備委員会の方で一括して協議しておりますと時間も要することから、各専門部会を設けて協議・検討をしていく予定でございます。委員には保護者の方、地域の方、学校現場を熟知されている学校教職員の方などを考えており、今年中には人選をして、来年1月に統合準備委員会を立ち上げていきたいと考えております。また専門部会を含む統合準備委員会の情報については市民の皆様にも分かりますように、できる限り発信して参りたいと思います。説明は以上でございます。

(池田市長)

それでは今、(仮称) 統合準備委員会のこれからのスケジュールについて説明をいただきましたが、この件に関して何か意見ございますか。

(小嶋教育長)

今、学校教育課長の方から説明したとおりであります。いよいよこの準備委員会というものの、組織、仕事の内容、細かいところまで相当お話が出てくるかと思えます。今、課長が申し上げたPTAや現場の先生方、地域、地域といっても色々な立場の方がいらっしゃいます。幅広く加わっていただきまして、今ある学校の、いろいろな歴史のあるものの整理整頓から始まって、ハード面のところをどうするかというような話題になってくるかと思えます。そんなところを準備委員会の委員の皆様方とまた教育委員会で進めていかなければならないかなど、私も事務局の一員でございますのでそのようなことを思っております。

(池田市長)

他にございますか。

この準備委員会、本当に解決しなければいけない課題が山ほどあると思えますが、現場の先生、地域の皆様の意見をよく聞き取っていただきまして、スムーズに進められるようなそんな体制で今後とも進めていくということをお願いしたいと思えます。

何か他にご意見ございますか。よろしいですか。

総合教育会議というのは、いろいろな意味で、今まで教育については物申すことが出来

なかったのが少し出来るようにということで今日あるのだと思うのですが、それにいたしましても、それぞれの立場からご協力いただきましてありがとうございます。引き続き中野市の教育のあり方、より良い教育が出来るように教育委員の皆さんにはご努力いただければと思っています。今後もよろしくお願いします。今後も連携をもちまして教育行政を推進してゆこうと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

本日予定しました議事は全て終了となりますが、事務局にお返しいたします。

(教育次長)

ありがとうございました。

本日の会議録等につきましては、後日、議事録といたしましてホームページにて公表して参りますのでよろしくお願いしたいと思います。

それでは以上をもちまして第1回中野市総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(終了：15：35)